

番号：160930

国名：トルコ

担当：地球環境部防災グループ防災第二チーム

案件名：リスク評価に基づく効果的な災害リスク管理のための能力強化プロジェクト(防災計画)

1. 担当業務、格付等

- (1) 担当業務：防災計画
- (2) 格付：3号
- (3) 業務の種類：専門家業務

2. 契約予定期間等

- (1) 全体期間：2017年1月上旬から2017年2月下旬まで
- (2) 業務M/M：国内 0.25M/M、現地 1.67M/M、合計 1.92M/M
- (3) 業務日数：

準備期間	現地業務期間	整理期間
2日	50日	3日

3. 簡易プロポーザル等提出部数、期限、方法

- (1) 簡易プロポーザル提出部数：1部
- (2) 見積書提出部数：1部
- (3) 提出期限：12月14日(12時まで)
- (4) 提出方法：専用アドレス (e-propo@jica.go.jp)への電子データの提出又は郵送(〒102-8012 東京都千代田区二番町5番地25二番町センタービル)(いずれも提出期限時刻必着)

※2014年2月26日以降の業務実施契約(単独型)公示案件(再公示含む)より、電子媒体による簡易プロポーザルの提出を本格導入しています。

提出方法等詳細についてはJICAホームページ(ホーム>JICAについて>調達情報>お知らせ>「コンサルタント等契約における業務実施契約(単独型)簡易プロポーザルの電子提出本格導入について」(<https://www2.jica.go.jp/ja/announce/pdf/procedure.pdf>))をご覧ください。なお、JICA本部1階調達部受付での受領は廃止しておりますので、ご持参いただいても受領致しかねます。ご注意ください。

- (5) 評価結果の通知：提出されたプロポーザルはJICAで評価・選考の上、各プロポーザル提出者の契約交渉順位を決定し、2016年12月27日(火)までに個別に通知します。

4. 簡易プロポーザル評価項目及び配点

- (1) 業務の実施方針等：
 - ①業務実施の基本方針 8点
 - ②業務実施上のバックアップ体制等 2点
 - (2) 業務従事予定者の経験能力等：
 - ①類似業務の経験 45点
 - ②対象国又は同類似地域での業務経験 12点
 - ③語学力 18点
 - ④その他学位、資格等 15点
- (計100点)

類似業務	防災計画に関わる業務及び関連する調整業務
対象国/類似地域	トルコ/全途上国
語学の種類	英語(語学は認定書(写)を添付)

5. 条件等

- (1) 参加資格のない社等：なし

(2) 必要予防接種：なし

6. 業務の背景

トルコ共和国（以下「トルコ」）は、人口約7,370万人（2010年、国家統計庁推定）、面積約78万km²（日本の約2倍）を有し、1人当たりのGDPは10,079ドル（2010年、国家統計庁）である。トルコの大部分を占めるアナトリア半島は、北側のユーラシアプレート、南側のアフリカプレート及びアラビアプレートの境界部に位置し、その他にもマイクロプレートが複数存在しているため、地震活動が活発な地域にあり、トルコは世界有数の地震頻発国として知られている。特に、イスタンブール付近には全長1000kmを越す北アナトリア断層が海底に存在しており、同断層は数百年間活動履歴がないことから地震発生リスクが高まっているとみられている。

トルコでは防災対策は国家の主要課題の1つとされており、「第9次国家開発計画（2007-2013）」において、「地域開発や都市計画における防災管理の確保」、「公共サービスとしての防災管理を行う新しい組織の設置」等を含め、防災への取り組みを進めている。その防災管理を行う新しい組織として、2009年に、首相府防災危機管理庁（AFAD：Disaster and Emergency Management Presidency）を設置し、分野横断的に地震に備えるために、「国家地震戦略及び行動計画（UDSEP）（2012-2023）」を取りまとめ、これに即した活動の推進を掲げている。2009年に制定された法律5902号（災害管理及び危機管理にかかる組織法：いわゆるAFAD設置法）では、自然災害のみならず産業災害や人為災害も対象に、分野横断的な取組みを通じて、災害に対して回復力のある地域づくりを進めていく必要がある、としている。

本プロジェクトは、トルコ国全81県で実施されるべき災害リスク管理に必要な地方防災計画策定ガイドラインに基づき、地方防災計画のパイロット地域での試行作成を支援することにより、AFAD及びAFADパイロット県支部を含むパイロット県行政機関の能力強化を図り、もってトルコ国における災害リスク管理に係る能力強化に寄与することを目的としている。プロジェクト概要は以下の通り。

- 1) 協力期間：2013年3月20日～2017年3月19日
- 2) 先方実施機関：AFAD（計画減災部）
- 3) 対象地域：アンカラ及びパイロット指定県
- 4) プロジェクト目標：AFAD本部とAFADパイロット指定県支部の災害リスク管理のための能力が向上される。

また、仙台防災枠組では、2020年までに国家・地方防災計画を策定することが定められているが、トルコにおいては同枠組に対応した見直しは行われていない。これを受け、JICAは2016年12月にAFAD及びパイロット3県（※）関係者を対象に国別研修を実施予定である。

（※）パイロット3県：ブルサ県、サムソン県、カフラマンマラシュ県

7. 業務の内容

本コンサルタント団員は、プロジェクトの目的を十分に把握の上、以下の業務を行う。

具体的担当事項は次のとおりとする。

- (1) 国内準備期間（2017年1月上旬）
 - ① 2016年12月に実施する国別研修のレビューを行い、国別研修の現地報告会と外部向けセミナーのコンセプトを検討する。
 - ② 特定テーマにかかる現地研修にかかる情報収集を行う。
 - ③ JICA地球環境部及びトルコ事務所と連絡・調整の上、現地における業務内容を整理する。
 - ④ 現地業務工程表（案）を含む業務計画書（和文）とワークプラン（英文）を作成し、JICA地球環境部による確認ののち提出する。
- (2) 現地派遣期間（1月中旬から2月下旬）

- ① 現地業務開始時に、JICAトルコ事務所、C/P機関にワークプランを提出し、業務計画の承認を得る。
- ② 国別研修で作成したアクションプランフォローアップとして、地方防災計画の策定にかかる助言をAFAD等に対し行う。
- ③ 以下のイベントについて開催・調整支援を行う
 - 1) 現地報告会（1月下旬）（主催：AFAD、対象者：国別研修参加者、AFAD関係者）
C/P機関であるAFADおよび帰国研修員にヒアリングを行い、国別研修で作成したアクションプランの実施方針を確認し、現地報告会開催・調整支援を行う
 - 2) 現地研修（2月上旬）（主催：AFAD、対象者：AFADおよび関係省庁）
特定テーマ（2016年12月に決定予定）に係る現地研修の講師選定支援および実施準備と、本邦からの研修講師派遣に係る支援を行う。
 - 3) 公開セミナー（2月中旬）
（主催：AFAD、対象者：AFAD、パイロット県、他の関係省庁）
アクションプランの実行に向け、関係機関に共有するセミナーの開催・調整支援を行う。
- ④ 2013年3月より開始した本プロジェクトの実績等の整理について、AFADおよびパイロット県から情報収集を行うとともに、防災計画の観点から、今後のAFADとの関係性構築についての助言を行う。
- ⑤ 現地派遣期間の終了前に、AFAD と JICA 事務所等へ業務完了報告を行う。

(3) 帰国後整理期間（2017年2月下旬）

専門家業務完了報告書（最終報告書）を作成し、JICA 地球環境部への提出及び報告を行う。

8. 成果品等

- (1) 業務実施計画書（ワークプラン）
和文1部、英文1部
- (2) 専門家業務完了報告書（最終報告書）和文3部
なお、上記成果品の体裁は簡易製本とする。

9. 見積書作成に係る留意点

本公示の積算を行うにあたっては、「JICAコンサルタント等契約における見積書作成ガイドライン」(<http://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/quotation.html>)を参照願います。留意点は以下のとおり。

- (1) 航空賃及び日当・宿泊料等
航空賃及び日当・宿泊料等は契約に含みます（見積書に計上してください）。
航空経路は、成田/羽田⇄トルコ（アンカラ）を標準とします。

10. 特記事項

(1) 業務日程／執務環境

① 現地業務日程

本業務従事者の現地業務期間は2017年1月中旬～2017年2月下旬を予定しています。

② 便宜供与

JICAトルコ事務所による便宜供与事項は以下のとおりです。

ア) 空港送迎

あり

イ) 宿舎手配

あり

ウ) 車両借上げ

全行程に対する移動車両の提供（JICA職員等の調査期間については、職員等と同乗

することとなります。)

エ) 通訳備上

セミナー等開催時に配置

オ) 現地日程のアレンジ

JICAが必要に応じアレンジします。なお、コンサルタントによるアポイント取り付けが必要となる場合があります。必要に応じて、英語⇄トルコ語のアシスタント配置を検討します。

(2) 参考資料

- ① 本業務に関する以下の資料をJICA地球環境部防災グループ防災第二チーム (TEL:03-5226-9582) で配布します。
 - ・トルコ国「リスク評価に基づく効果的な災害リスク管理のための能力強化プロジェクト」詳細計画策定調査報告書

(3) その他

- ① 業務実施契約（単独型）については、単独（1名）の業務従事者の提案を求めている制度ですので、複数の業務従事者によるプロポーザルは無効とさせていただきます。
- ② トルコでの業務経験があれば望ましいです。
- ③ 現地作業期間中は安全管理に十分留意してください。現地の治安状況については、JICAトルコ事務所などにおいて十分な情報収集を行うとともに、現地の安全確保のための関係諸機関に対する協力依頼及び調整作業を十分に行うこととします。また、同事務所と常時連絡が取れる体制とし、特に地方にて活動を行う場合は、現地の治安状況、移動手段等について同事務所と緊密に連絡を取るよう留意することとします。また現地作業中における安全管理体制をプロポーザルに記載してください。また、現地業務に先立ち、外務省「たびレジ」に渡航予定の業務従事者全員を登録して下さい。
- ④ 本業務の実施にあたっては、「JICA不正腐敗防災ガイダンス（2014年10月）」 (<http://www2.jica.go.jp/ja/odainfo/pdf/guidance.pdf>) の趣旨を念頭に業務を行うこととします。なお、疑義事項が生じた場合は、不正腐敗情報相談窓口またはJICA担当者に速やかに相談してください。

以上